

目標達成計画

作成日：平成 23 年 10 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25 38 50 51	外出の機会が多いが出かける場合、職員側の都合を優先し、時間帯や行き先などが固定化していないか、また利用者が日常的に外出できるような個別の支援ができていないか、利用者の状態や希望、その時の状況などに応じた外出への支援ができていないか反省すべき点がある。	1、ひとり一人の生活を豊かなものにするために積極的に外出を支援する。 2、すぐに忘れてもいい。その時々喜び、楽しみ幸せを感じていただくような活動の支援をする。	①利用者全員・家族(希望者)・職員と一泊温泉旅行(第2回目) 24年春 山口か別府方面 ②利用者一人一人の尋ねていきたい所(ルーツの旅)→記録に残す(ふるさと紀行?) ③買い物 映画 コンサートなど ④日常生活の中で掃除 料理 洗濯物など ⑤創作活動	12ヶ月
2	54 55	共用型デイサービスを平成22年8月から開始して現在1名が利用している。デイ利用者はケアに対して激しく抵抗することがあり、また、グループホーム利用者との間で再三トラブルが生じ、混乱を招くことがある。 デイサービスの利用者が増えない	1、デイサービスの利用が増えることにより混乱することなく役割作りやグループホーム利用者とのトラブルがないよう人間関係を調整し、落ち着いた環境で双方が居心地よく過ごせるようにする。 2、デイサービスの利用者獲得	①デイサービスのPR作戦 ②朝の迎えを中心に時々グループホーム利用者もデイ利用者の送迎に同行 ③利用者の言動に注意し、トラブルが生じそうにあれば職員が調整する ④入浴の順番はその時の状況により決める ⑤ケアに対して激しい拒否がある場合には無理強いをしないで落ち着くまで待つ	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。